

平成25年度 学校教育目標設定報告書

平成25年度のテーマ 「あたりまえのことがあたりまえに行われる学校づくり」

重点目標 「挨拶ができる・時間を守る・身だしなみを整える」(生徒)

「本校の使命を理解し、組織で協働し、誠実に実行する」(職員)

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校 経営	1 本校の使命を理解し、組織で協働し、誠実に実行する。 2 安心・安全な学校(物理的・心理的な安心・安全な環境整備) 3 保護者・地域との相互協力による教育力の向上 4 入学志願者数の確保	(1)職員全体で、本校の使命についての共通理解を図り、保護者・地域に知らしめるとともに、その実現に向け、尽力する。 (2)施設・設備の管理保全のため、安全点検を定期的実施するとともに、生徒の危険予知能力、危機回避能力を育成する。 (3)情報が速やかに主任、管理職へと報告される体制をつくとともに、ホームページ、校長ブログ、学校だより等で、積極的に、学校のように発信する。 (4)不祥事防止に向けて、モラルアップ委員会を活性化し、研修会を充実させる。 (5)中学校訪問、学校説明会等を充実させることにより、入学志願者の確保に努める。 (6)体育館、グラウンド等の体育施設を積極的に開放するとともに、地域の行事に積極的に参加し、学校のように伝え、また、意見を聞く場とする。 (7)PTA役員、理事以外の保護者にサポーターとして、学校行事に参加してもらおう。	(1)職員、生徒、保護者向けアンケート結果 (2)安全点検の方法、回数、アンケート結果 (3)報告状況、学校だより等の発行回数、ホームページ等の更新回数、本校ホームページへのアクセス数 (4)モラルアップ委員会の実施回数、内容、研修会のアンケート結果 (5)中学校訪問、学校説明の実施状況、アンケート結果 (6)体育館、グラウンド等の体育施設解放の回数、行事に参加する回数 (7)参加人数
学習 指導	1 実態に即した基礎基本の学力の定着と向上 2 保護者・地域との相互協力による教育力の向上	(1)本校における「学び直し」の位置づけを職員全体で共通理解を図り、生徒の実態に即したわかる授業を展開する。 (2)生徒対象の授業評価アンケートを行う。 (3)授業錬磨の公開日、東部地区の小・中学校との連携などによる授業公開を推進する。また、初任者研修、5年経験者研修等とも絡めながら、各教科で校内研究授業を実施し、教科内の研修を行う。	(1)基礎学力テスト結果、アンケート結果 (2)アンケート結果 (3)授業公開の実施回数、実施状況、教科内の研究授業の実施回数、実施状況

生徒指導	<p>1 生徒指導の充実（挨拶ができる・時間を守る・身だしなみを整える～気にかける，声をかける，手間をかける）</p> <p>2 保護者・地域との相互協力による教育力の向上</p>	<p>(1)登下校指導，ホームルーム活動をとおして，整容（頭髪・服装）指導，遅刻指導，交通安全指導を行うとともに，ルール・マナーを守る指導を行う。</p> <p>(2)保護者と連携した指導を行う。（登下校指導等）</p> <p>(3)教育相談（生徒理解）の研修会充実させるとともに，定期的な個人面談の実施と，スクールカウンセラー，養護教諭，学級担任等，連携した教育相談体制を充実させる。</p>	<p>(1)指導の状況，遅刻等の回数，アンケート結果</p> <p>(2)保護者の参加状況</p> <p>(3)研修会の実施状況，個人面談の実施状況，アンケート結果</p>
キャリア教育	<p>組織的・計画的な進路指導（見える進路，あきらめない進路）</p>	<p>(1)学年別に，進路説明会等を組織的・計画的に行う。</p> <p>(2)保護者に対して，進路指導に係る指導の在り方や現状についての啓蒙を図る。</p> <p>(3)進路に対する関心を高め，自己実現に向けて，主体的に行動できる生徒を育てるため，進路講演会を行う。</p>	<p>(1)進路説明会等の実施回数，実施状況</p> <p>(2)進路通信やホームページを活用した情報発信状況，アンケート結果</p> <p>(3)講演会の実施状況，アンケート結果</p>
特色ある教育活動	<p>1 ボランティア活動を推進し，教育活動全般をとおして，生徒の福祉マインドの育成を図る。</p> <p>2 福祉教養科の教育内容の充実，国家試験の合格率向上，積極的な情報発信</p> <p>3 福祉教育拠点校としての役割を果たす。</p>	<p>(1)ボランティアセンターを機能させ，ボランティア部，JRC部等を活性化させることにより，普通科生徒がボランティア活動に参加できる環境をつくる。</p> <p>(2)「高校生と赤ちゃんのふれあい体験授業」等，福祉マインドを育成する行事を企画し，実施する。</p> <p>(3)教育内容を充実させ，福祉教養科生徒のモチベーションを維持させることにより，介護福祉士国家試験の合格率を向上させる。また，介護福祉士を目指す本校教育の現状について理解を得るため，授業公開を推進し，積極的な情報発信に努める。</p> <p>(4)県内福祉コース，福祉系列設置校とのネットワークを構築し，福祉に関する知識や技術の習得などの研修を重ねることにより，福祉教育のレベアアップを図る。</p>	<p>(1)ボランティア部，JRC部の実施状況，生徒のボランティア活動への参加状況，参加人数</p> <p>(2)企画する行事の数，内容，実施状況，アンケート結果</p> <p>(3)アンケート結果，授業公開の実施回数，実施状況，実習報告会の状況，介護福祉士国家試験の合格状況，</p> <p>(4)連携状況，アンケート結果等</p>